



こんにちは、箕輪進修高校です

うえのぼやしだより

3月

## 救命救急講習が開催されました



卒業を控えた3年生は、2月24日(水)の登校日に「救命救急講習」を受講しました。これから社会人として活躍する3年生が、生命の危機に瀕している人を進んで助けようという勇気ある決断ができるよう、知識と技術を身に付けてもらいたいという願いから開催されました。講習では13名の日本赤十字社長野県

支部の指導員の方々をお迎えして、指導していただきました。講習内容は、救急法の中でも特に大切な胸骨圧迫を中心に行われました。この胸骨圧迫は、心臓を再び動かすためではなく、全身特に脳に血液を送るために行うそうです。指導員の方のデモンストレーションに続き、各自に用意された人形を相手に、生徒たちは懸命に胸骨圧迫を繰り返していました。1分間100回のペースということでしたが、力を加え続ける生徒は特に大変そうでした。

最後は受講証明書が生徒全員に配られ、講習は終了しました。もし万が一将来このような場面に出くわした時、今日の講習の成果が発揮できるよう期待したいと思います。

(みのしんパワー「協働する力」「前進する力」)



## 高校生就職ガイダンス



箕輪進修高校では、きめ細かく丁寧な進路指導が行われるのが学校の特徴の一つです。

2月26日(金)、2年生は高校生就職ガイダンスを受講しました。この講座は、厚生労働省による就職支援・職場定着事業の一環として開かれました。進路活動を控えている生徒たちはスーツに身を包み、午前はDVD鑑賞による

就職活動時のマナーや心構え、面接に臨む際の注意点などについて学び、午後は大原学園の関奈保子先生による面接体験をしました。面接体験では、先生を中心として生徒も審査に加わり、お互いに評価しあいました。先生からは、「もっとアイコンタクトを大切に」「自己PRや長所を話すときはなるべ

く具体例を入れて」などのアドバイスをいただきました。生徒たちは臆することなく堂々と受け答えをされていて、とても頼もしく感じました。この調子で夢をつかんで欲しいと思います。(みのしんパワー「前進する力」)

## 3年生が巣立ちました



3月2日(火)、令和2年度卒業証書授与式が挙行されました。当日はあいにくの雨でしたが、I部クリエイト工学科31名、I部普通科33名、II部普通科23名、III部普通科9名、計96名の卒業生が学び舎を巣立っていきました。今年度はコロナ禍の中での式でしたので、在校生の姿はなく、保護者も各家庭1

名のみのお出席となりました。少し寂しい気もしましたが、厳かな雰囲気の中、滞りなく式は進んでいきました。送辞では現生徒会副会長の三澤ユナさんが、「コロナ禍の中の文化祭では、リモートでクラス展の発表を行うなど、先輩たちの何とかよい文化祭をつくろうとする姿がとても印象的でした」と述べました。それに対して旧生徒会長の小林巧弥君の答辞では、



「バスケットボール部での活動では、コロナ禍で練習試合などなかなか行うことができな

かったが、その分自主トレを工夫することなどによって、精神的・身体的に成長することができた。仲間と共有した思い出を糧とし、多くの方々に支えてもらったことに感謝する気持ちを忘れずに、これからも頑張っていきたい」と力強く述べてくれました。式の最後に各種表彰や皆勤賞の発表が行われ、活躍してくれた生徒たちにひと花添えました。天候に恵まれなかった



卒業式でしたが、このことがかえっていい思い出となり、卒業生や職員の心にいつまでも花咲かせてくれることをお祈りしています。卒業生の皆さん、本当に卒業おめでとうございます!(みのしんパワー「前進する力」・「自分と他者の個性を理解・尊重する心」・「協働する力」)



**箕輪進修高校ホームページ**

<http://www.naganoc.ed.jp/mino>

学校に対するご意見・ご要望は、トップページ  
問い合わせメール に送信してください。

